

九州の野菜の概況

平成19年8月

生産経営流通部園芸特産課

1 産出額の推移等

(1) 農業産出額に占める野菜のシェア

平成 17 年の野菜の産出額は 3,642 億円で全体の 21.7 %を占めており、畜産に次ぐ重要な作目となっている。

表 - 1 農業産出額の推移

(単位：億円)

区分	14年	15年	16年	17年	作物別割合(17年)	
					九州	全国
産出額合計	16,786	16,899	16,591	16,799	100.0%	100.0%
耕種計	10,428	10,639	9,872	9,862	58.7%	68.6%
米	2,401	2,672	2,042	2,185	13.0%	23.0%
野菜	3,826	3,892	3,692	3,642	21.7%	23.0%
果実	1,260	1,235	1,232	1,171	7.0%	8.2%
花き	847	820	798	768	4.6%	4.6%
工芸農産物	948	883	972	900	5.4%	3.4%
その他	1,147	1,137	1,136	1,196	7.1%	6.4%
畜産	6,162	6,037	6,468	6,714	40.0%	30.7%
加工農産物	196	223	251	226	1.3%	0.8%

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

注：1) ラウンドの関係で内訳と計が合わないことがある。

2) 耕種の「その他」は麦類、雑穀・豆類、いも類、種苗・植木類である。

(2) 主要野菜の全国的な地位

品目別産出額で各県の全国順位をみると、第1位が熊本県のトマト、すいか、宮崎県のピーマン、きゅうり、鹿児島県のそらまめ、オクラの計6品目で、第2位が福岡県のいちご、佐賀県のたまねぎ、長崎県のばれいしょ、熊本県のなす、大分県のしそ、鹿児島県のさやえんどう、かぼちゃで7品目が占めている。

一般的には、施設栽培において九州は全国でも上位を占めている。

しかしながら、佐賀県のたまねぎや長崎県・鹿児島県のばれいしょ、宮崎県のさといもなどを除くと露地野菜は全体的に低位にある。

表 - 2 主要野菜の全国的な地位(平成17年野菜産出額)

(単位：億円、%)

品目名	産出額		九州各県の全国順位(10位以内)							
	九州	九州の割合	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	
指定野菜	きゅうり	265	20.8%						1	
	さといも	58	21.8%				9		3	4
	だいこん	143	14.9%			9			6	7
	トマト	451	24.2%				1		10	
	なす	167	21.5%	3						
	にんじん	62	10.6%			8	2		10	9
	ねぎ	174	13.7%	5				6		
	はくさい	41	10.3%			9				
	ばれいしょ	210	17.1%			2				3
	ピーマン	163	41.7%				8	7	1	4
	ほうれんそう	85	8.5%	9						
	レタス	80	12.1%	6		9				
	キャベツ	107	12.1%				8			9
	たまねぎ	130	18.1%		2	6	9			
特定野菜等	ごぼう	52	20.5%				8		4	9
	アスパラガス	59	26.9%	10	4	3	7			
	しょうが	29	20.3%			8	3		6	
	いちご	578	33.4%	2	6	7	3			
	すいか	148	24.5%				1			
	メロン	178	21.2%				4		7	
	さやいんげん	47	17.6%			10	9			3
	さやえんどう	36	21.3%							2
	そらまめ	29	45.3%							1
	かぼちゃ	47	20.1%			7	10		4	2
	スイートコーン	28	9.1%						7	
	オクラ	31	45.6%	7			3		6	1
	にら	40	16.9%						4	
	しそ	29	17.0%		6			2	5	
野菜計(産出額)	3,647	18.0%	638	333	362	961	294	626	432	
10位以内の品目数			7	4	11	15	3	14	12	

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

注：表中の「メロン」は露地メロン及び温室メロンである。

2 野菜販売農家数の推移

(1) 野菜販売農家数

九州の野菜販売農家数（平成12年）は、露地野菜が63千戸、施設野菜が34千戸となっている。

全国に占める九州の野菜販売農家数の割合は、露地野菜が約14%、施設野菜が約22%である。

また、九州の施設野菜収穫農家数の減少割合は93%（対7年）と全国の90%に比べ小さくなっている。

(2) 県別野菜販売農家数

露地野菜販売農家数が多いのは、鹿児島県、熊本県、福岡県、宮崎県であり、一方、施設野菜では、熊本県、福岡県、宮崎県が多くなっている。

また、総農家数に対する野菜農家の割合が高いのは、露地野菜では宮崎県、長崎県、佐賀県であり、施設野菜では熊本県、佐賀県、宮崎県となっている。

表 - 3 野菜販売農家数

(単位：戸)

		昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	12年/7年
露地野菜 販売農家数	全 国	607,382	789,671	606,220	482,290	449,915	93.3%
	九 州	92,907	124,327	89,984	67,067	62,544	93.3%
	九州/全国	15.3%	15.7%	14.8%	13.9%	13.9%	-
施設野菜 収穫農家数	全 国	152,422	192,715	181,249	178,715	159,883	89.5%
	九 州	31,812	36,966	37,785	37,227	34,492	92.7%
	九州/全国	20.9%	19.2%	20.8%	20.8%	21.6%	-
(参考) 総農家数	全 国	4,661,384	4,228,738	3,834,732	3,443,550	3,120,215	90.6%
	九 州	745,759	655,132	576,740	507,159	459,137	90.5%
	九州/全国	16.0%	15.5%	15.0%	14.7%	14.7%	-

資料：農林水産省「農（林）業センサス」

注：1) 昭和55年の露地野菜販売農家数は野菜収穫農家数中の販売実農家数

2) 平成12年の露地野菜販売農家数は販売目的で作付けた栽培農家数(以下同様)

3) 平成12年の施設野菜収穫農家数は施設に販売目的で栽培した農家数(以下同様)

表 - 4 野菜販売農家数(平成12年)

(単位：戸)

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	九州計
露地野菜販売農家数	10,316	6,854	7,584	10,318	5,928	9,640	11,904	62,544
総農家に対する割合	12.6%	16.7%	17.1%	13.0%	10.3%	17.2%	12.1%	13.6%
施設野菜収穫農家数	5,774	3,732	3,643	10,641	2,762	4,942	2,998	34,492
総農家に対する割合	7.1%	9.1%	8.2%	13.4%	4.8%	8.8%	3.1%	7.5%
(参考) 総農家数	81,849	41,135	44,415	79,621	57,711	56,195	98,211	459,137

資料：農林水産省「農業センサス」

(3) 収穫規模別露地野菜販売農家数の分布

露地野菜販売農家は、1 ha 未満の農家の割合が 87 % (全国は 86 %) を占めている。

1 ha 以上の規模の農家数の割合は、平成 7 年に比べ 1.7 ポイント (全国 0.5 ポイント) 増加するなど、規模拡大が進んでいる。

表 - 5 収穫面積別の露地野菜販売農家数と増減率

(単位：戸)

		0.1ha 未満	0.1～ 0.3ha	0.3～ 0.5ha	0.5～ 1.0ha	1.0～ 1.5ha	1.5～ 2.0ha	2.0ha 以上	計
全国	平成7年	95,900	177,432	75,568	68,744	26,101	13,059	25,486	482,290
	割合	19.9%	36.8%	15.7%	14.3%	5.4%	2.7%	5.3%	100.0%
	平成12年	106,607	157,941	63,480	59,362	23,421	12,098	27,006	449,915
	割合	23.7%	35.1%	14.1%	13.2%	5.2%	2.7%	6.0%	100.0%
	12年/7年	111.2%	89.0%	84.0%	86.4%	89.7%	92.6%	106.0%	93.3%
九州	平成7年	11,483	26,686	11,431	9,922	3,506	1,688	2,351	67,067
	割合	17.1%	39.8%	17.0%	14.8%	5.2%	2.5%	3.5%	100.0%
	平成12年	12,618	23,525	9,563	8,736	3,338	1,645	3,119	62,544
	割合	20.2%	37.6%	15.3%	14.0%	5.3%	2.6%	5.0%	100.0%
	12年/7年	109.9%	88.2%	83.7%	88.0%	95.2%	97.5%	132.7%	93.3%

資料：農林水産省「農(林)業センサス」

(4) 施設園芸の動向

野菜消費の周年化等に伴い、九州では冬期温暖な立地条件を生かしたハウス等の施設栽培が普及している。

野菜の施設設置面積は1万358haで、前回調査(平成15年)と比べて309ha減少している。

表 - 6 園芸用(野菜)施設の設置面積・栽培面積の推移

(単位：千㎡, 戸, %)

		13年	15年	17年
九州	栽培延べ面積	135,177	130,355	130,478
	施設設置面積	110,605	106,672	103,583
	経営実農家数	35,226	37,471	36,629
全国	栽培延べ面積	498,011	485,128	495,651
	施設設置面積	367,580	362,779	362,400
	経営実農家数	207,383	199,510	194,795
九州/全国	栽培延べ面積	27.1	26.9	26.3
	施設設置面積	30.0	29.4	28.6
	経営実農家数	17.0	18.8	18.8

資料：農林水産省生産局野菜課「園芸用ガラス室・ハウス等の設置状況調査」

3 作付面積と収穫量の推移

(1) 作付面積

主要野菜(14品目)の作付面積は、近年、減少傾向にあり、17年は4万9,100haと、元年に比べ76.0%まで減少している。なお、全国に占める割合は14.2%で、元年よりわずかに増えた。

県別の作付面積をみると、鹿児島県が最も多く、次いで長崎県、熊本県、宮崎県の順となっている。

各県とも、17年の作付面積は元年に比べ減少しており、特に、長崎県は67.5%と著しく減少している。

(2) 収穫量

17年の主要野菜の収穫量は164万トンとなり、元年に比べ82.1%まで減少している。なお、全国に占める割合は14.5%で、元年より若干高くなった。

収穫量の多い県は、宮崎県・鹿児島県である。九州全体の収穫量が元年に比べ約17.9%減少している中で、佐賀県だけが元年に比べ9.0%増加した。これは、ねぎ、たまねぎの面積増(ねぎ：対元年241%、たまねぎ：同121%)による。

表 - 7 野菜の作付面積と収穫量の推移

(単位：ha、千トン)

区分		元年	15年	16年	17年	17年/元年
作付面積	全国	464,270	358,060	350,280	345,920	74.5%
	九州	64,640	51,019	49,800	49,100	76.0%
	九州/全国	13.9%	14.2%	14.2%	14.2%	
	福岡県	7,521	6,183	5,822	5,671	75.4%
	佐賀県	4,633	4,084	4,032	4,153	89.6%
	長崎県	12,571	8,971	8,780	8,485	67.5%
	熊本県	9,925	8,447	8,250	8,140	82.0%
	大分県	5,523	4,369	4,163	3,998	72.4%
	宮崎県	10,837	8,046	8,087	7,939	73.3%
	鹿児島県	13,586	10,927	10,650	10,692	78.7%
収穫量	全国	15,250	12,438	11,846	11,294	74.1%
	九州	1,995	1,599	1,639	1,637	82.1%
	九州/全国	13.1%	12.9%	13.8%	14.5%	
	福岡県	248	195	175	181	73.0%
	佐賀県	177	185	178	193	109.0%
	長崎県	320	285	288	265	82.8%
	熊本県	310	286	270	277	89.4%
	大分県	151	117	97	107	70.9%
	宮崎県	381	335	323	320	84.0%
鹿児島県	407	318	307	293	72.0%	

資料：農林水産省統計部「野菜生産出荷統計」

- 注：1) 作付面積、収穫量とも主要13品目にばれいしょを加えた14品目である。
 2) 数値はラウンドの関係で九州計と各県内訳が一致しない場合がある。
 3) 平成17年産は速報値ある。なお、17年産調査から主産県調査となったため、16年産以前の数値とは直接比較はできない。

4 野菜の出荷量及び仕向先等

平成 17 年産主要野菜の出荷量は、123 万トンで前年を 0.5 % 下回った。

九州域外への出荷割合は、前年と同程度の 57 % であり、品目別にも総じて前年並の割合となっている。

表 - 8 主要野菜の地域別市場出荷量の割合

(単位：千トン)

区 分	16年産 出荷量	17年産 出荷量	前年比 (%)	九州域外への出荷割合 (%)				
				全体	京浜	東海	近畿	中国
だいこん	98	108	110.2	45.6	0.7	1.3	29.0	11.0
にんじん	75	69	92.0	49.2	2.7	2.6	22.6	13.5
はくさい	90	111	123.3	47.4	0.5	4.1	28.2	9.4
キャベツ	108	107	99.1	21.3	0.8	0.6	8.9	9.9
ほうれんそ う	12	12	100.0	33.7	0.8	1.3	13.2	11.0
ね ぎ	22	23	104.5	42.7	17.3	4.6	10.5	5.7
レ タ ス	57	57	100.0	39.7	15.1	2.9	10.3	6.9
き ゅ う り	124	121	97.6	52.5	10.8	4.7	21.9	8.9
な す	64	63	98.4	64.6	30.4	7.0	8.9	9.3
ト マ ト	119	123	103.4	64.7	25.6	3.6	21.2	6.5
ビ ー マ ン	50	48	96.0	61.7	18.1	10.6	15.4	6.7
さといも	29	25	86.2	50.1	9.3	9.2	17.1	5.6
たまねぎ	136	147	108.1	74.1	41.8	0.8	11.9	4.5
14 品 目 計	984	1014	103.0	52.3	15.1	3.4	18.2	8.3
ばれいしょ	197	160	81.2	80.7	27.1	11.5	24.9	4.2
い ち ご	54	54	100.0	79.6	27.9	4.8	30.4	10.2
計	1234	1228	99.5	57.2	17.2	4.5	19.6	7.9

資料：青果物産地別入荷量調査

注：九州域外への出荷割合は、必ずしも出荷量とは対応しない

5 野菜指定産地の状況

野菜指定産地制度は、指定野菜の安定的な供給を図ることを目的としており、野菜指定産地〔平成 19 年 2 月 16 日現在〕は 183 産地であり、17 年度の作付面積は 1 万 8,806ha (前年比 95 %)、出荷量は 72 万 2,945 トン (同 96 %) であった。

平成 17 年度の全国の指定産地に占める九州の割合は、産地数で 18.6 % となっている。

表 - 9 指定産地の推移

(単位：カ所, ha, トン)

区 分	7 年	12 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年
指定産地数	223	216	219	211	204	186	183
作付面積	19,496	21,330	21,256	21,595	19,717	18,806	-
出荷量	5638,100	786,421	783,812	770,902	751,500	722,945	-

資料：農林水産省生産局調べ及び野菜生産出荷統計

表 - 10 全国の指定産地に占める九州の割合(平成17年)

(単位：カ所, ha, トン, %)

区 分	全 国	九 州	対全国比
指定産地数	998	186	18.6
作付面積	-	18,806	-
出荷量	-	722,945	-

資料：農林水産省生産局調べ及び野菜生産出荷統計

